

大規模小売店舗統計編の概況

1. 大規模小売店舗数
2. 大規模小売店舗内小売商店
 - (1) 商店数
 - (2) 年間販売額
 - (3) 従業者数
 - (4) 売場面積
3. 大規模小売店舗内・外比較
4. 単位当たりの年間販売額
5. 都道府県別

【総括表】 大規模小売店舗数と大規模小売店舗内小売商店の商店数等 (平成11年)

店舗面積区分	大規模小売店舗数		大規模小売店舗内小売商店							
	前回比 増減率 (%)	前 回 比 (%)	商 店 数		年 間 販 売 額		従 業 者 数		売 場 面 積	
			(店)	(%)	(百万円)	(%)	(人)	(%)	(㎡)	(%)
合 計	23,897	8.0	123,504	4.3	48,845,174	1.1	1,837,765	13.0	61,895,185	10.3
500㎡以上 1,000㎡未満	8,671	9.1	17,193	6.1	5,557,927	3.2	236,324	16.0	6,513,463	9.9
1,000㎡以上 1,500㎡未満	5,249	3.4	13,481	13.9	4,781,384	10.4	197,419	2.6	5,878,222	6.0
1,500㎡以上 2,000㎡未満	1,841	14.5	5,582	4.3	2,259,250	7.9	94,150	19.9	2,787,043	13.3
2,000㎡以上 2,500㎡未満	1,451	14.7	4,894	5.7	1,957,194	3.1	82,063	19.7	2,769,282	12.6
2,500㎡以上 3,000㎡未満	1,335	15.4	5,388	4.9	2,136,739	4.3	87,235	17.7	3,088,947	15.2
3,000㎡以上 4,000㎡未満	1,135	8.4	5,045	9.6	2,186,714	7.3	85,764	14.2	3,403,369	8.1
4,000㎡以上 5,000㎡未満	843	16.8	5,386	5.0	1,923,786	1.2	80,002	14.4	3,171,323	15.9
5,000㎡以上 6,000㎡未満	596	19.0	4,666	8.7	1,668,438	0.4	70,912	13.8	2,674,740	16.6
6,000㎡以上 8,000㎡未満	695	10.5	7,813	9.6	2,608,516	6.9	112,027	5.7	3,933,875	5.3
8,000㎡以上 10,000㎡未満	531	5.8	8,636	10.2	2,718,936	9.8	117,983	6.7	3,964,742	1.4
10,000㎡以上 20,000㎡未満	1,106	13.7	27,691	1.3	9,015,587	1.6	366,671	14.9	12,566,992	13.0
20,000㎡以上 30,000㎡未満	305	28.2	10,431	14.1	4,784,076	1.5	162,595	23.8	6,006,583	21.0
30,000㎡以上 40,000㎡未満	74	21.7	3,125	15.3	2,508,772	1.4	57,441	11.2	2,198,225	16.4
40,000㎡以上 50,000㎡未満	36	28.6	1,856	16.9	1,781,811	4.0	35,305	17.3	1,297,764	26.2
50,000㎡以上	29	16.0	2,317	3.3	2,956,043	3.8	51,874	2.8	1,640,615	10.9

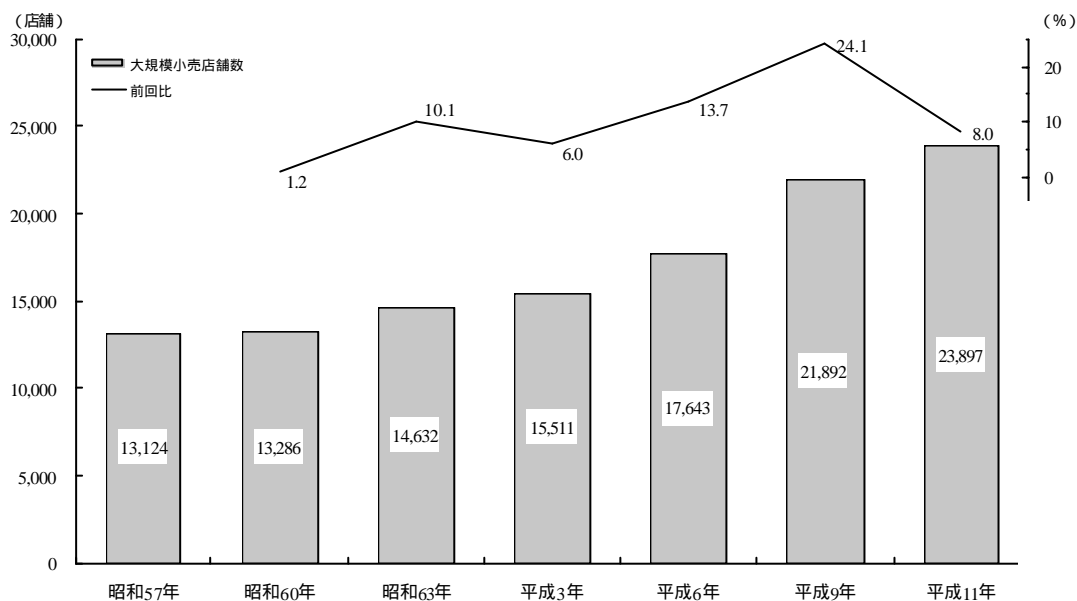
(注) 平成11年調査において事業所の捕そくを行っており、前回比については時系列を考慮したもので算出している。

1. 大規模小売店舗数

- 増加傾向で推移する大規模小売店舗 -

平成11年商業統計調査(7月1日調査)における大規模小売店舗(以下、「大店」といふ)数は、2万3897店舗(前回比8.0%増)と昭和57年の本編刊行以来増加傾向にあるものの、増加幅は縮小している(第1図)。(大規模小売店舗とは「大規模小売店舗における小売業の事業活動の調整に関する法律」、いわゆる「大店法」の定義による)

第1図 大規模小売店舗数の推移



(注) 平成11年調査において事業所の掃そくを行っており、前回比については時系列を考慮したもので算出している。

店舗面積規模別に構成比をみると、最も多いのは500㎡未満の36.3%、以下、1000㎡未満(構成比22.0%)、1500㎡未満(同19.4%)、3000㎡未満(同10.8%)となっている。1500㎡未満が全体の約6割を占める一方、10000㎡以上は1割以下となっている(第1表)。

第1表 店舗面積規模別にみた大規模小売店舗数

店舗面積規模	大規模小売店舗数						前回比(%)	
	実数(店)			構成比(%)			前回比(%)	
	平成6年	平成9年	平成11年	平成6年	平成9年	平成11年	平成9年	平成11年
合計	17,643	21,892	23,897	100.0	100.0	100.0	24.1	8.0
500㎡以上 1,000㎡未満	5,817	7,836	8,671	33.0	35.8	36.3	34.7	9.1
1,000㎡以上 1,500㎡未満	5,296	5,366	5,249	30.0	24.5	22.0	1.3	3.4
1,500㎡以上 3,000㎡未満	2,908	3,984	4,627	16.5	18.2	19.4	37.0	14.8
3,000㎡以上 6,000㎡未満	1,593	2,255	2,574	9.0	10.3	10.8	41.6	13.4
6,000㎡以上 10,000㎡未満	977	1,128	1,226	5.5	5.2	5.1	15.5	8.4
10,000㎡以上 20,000㎡未満	773	972	1,106	4.4	4.4	4.6	25.7	13.7
20,000㎡以上	279	351	444	1.6	1.6	1.9	25.8	26.2

(注) 平成11年調査において事業所の掃そくを行っており、前回比については時系列を考慮したもので算出している。

店舗面積規模別に前回比をみると、1000～1500㎡未満（前回比 3.4%）が減少したものの、それ以外のすべての規模区分で増加となった。特に20000㎡以上では前回比26.2%と引き続き大幅に増加している。また、前回ほぼ4割増となった1500～3000㎡未満（同14.8%）、3000～6000㎡未満（同13.4%）も2桁台の伸びを示している。なお、最も店舗数の多い500～1000㎡未満では、増加幅は縮小したものの引き続き増加している（第1表）。

2. 大規模小売店舗内小売商店

(1) 商店数

- 増加傾向から初めて減少 -

大規模小売店舗内小売商店（以下、「大店内商店」という）は、12万3504店、前回比4.3%減となり、昭和57年の本編刊行以来初めての減少となった。なお、大店内商店の小売業全体に占める割合は8.8%であった（第2表）。

第2表 大規模小売店舗内小売商店数の推移

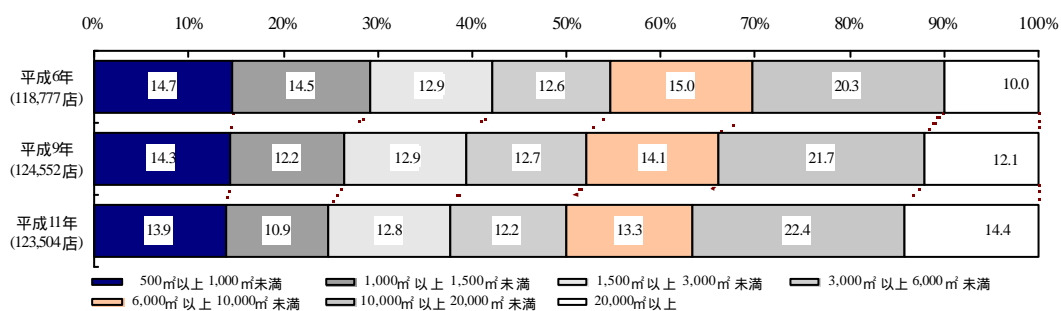
店舗面積規模	大規模小売店舗内小売商店数						前回比(%)	
	実数(店)			構成比(%)			前回比(%)	
	平成6年	平成9年	平成11年	平成6年	平成9年	平成11年	平成9年	平成11年
合計	118,777	124,552	123,504	100.0	100.0	100.0	4.9	4.3
500㎡以上 1,000㎡未満	17,417	17,826	17,193	14.7	14.3	13.9	2.3	6.1
1,000㎡以上 1,500㎡未満	17,268	15,191	13,481	14.5	12.2	10.9	12.0	13.9
1,500㎡以上 3,000㎡未満	15,263	16,059	15,864	12.9	12.9	12.8	5.2	4.9
3,000㎡以上 6,000㎡未満	14,981	15,808	15,097	12.6	12.7	12.2	5.5	7.7
6,000㎡以上 10,000㎡未満	17,838	17,553	16,449	15.0	14.1	13.3	1.6	9.9
10,000㎡以上 20,000㎡未満	24,095	27,054	27,691	20.3	21.7	22.4	12.3	1.3
20,000㎡以上	11,915	15,061	17,729	10.0	12.1	14.4	26.4	13.0

（注）平成11年調査において事業所の掃そくを行っており、前回比については時系列を考慮したもので算出している。

店舗面積規模別の大店内商店数

店舗面積規模別に構成比をみると、最も多いのは10000～20000㎡未満（構成比22.4%）、次いで、20000㎡以上（同14.4%）、500～1000㎡未満（同13.9%）となっている。前回に比べ10000㎡以上の大店舗で拡大、それ以下のすべての規模区分で縮小となっている（第2図）。

第2図 店舗面積規模別の大規模小売店舗内小売商店数構成比の推移



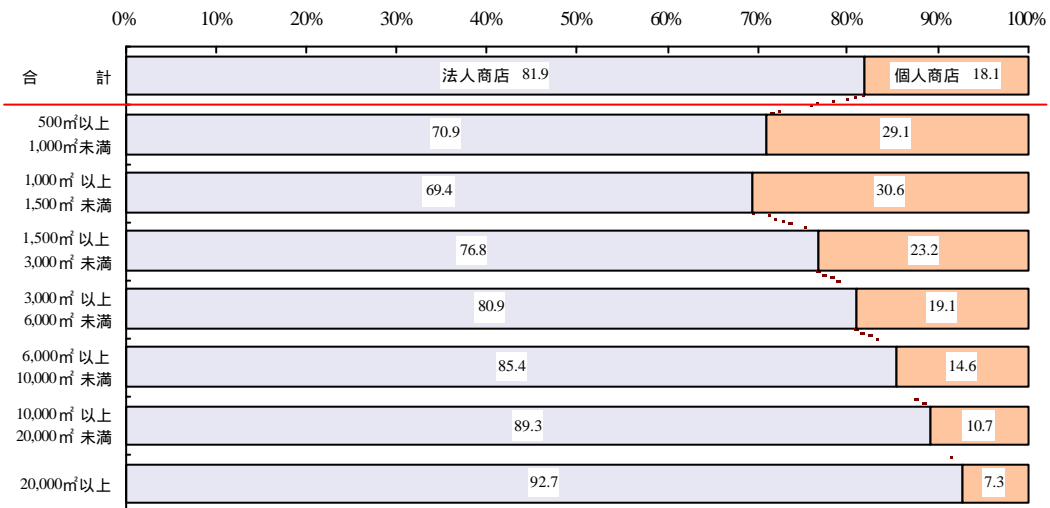
前回比をみると、20000 m²以上で2桁台の大幅増加(前回比13.0%増)となったが、他の規模区分ではすべて減少となった。なかでも、1000 m²～1500 m²未満(同13.9%減)、6000 m²～10000 m²未満(同9.9%減)の2区分では、2調査連続の減少となり、減少幅も拡大している。

経営組織(法人・個人)別の大店内商店数

経営組織(法人・個人)別にみると、大店内商店のうち法人商店が10万1154店(構成比81.9%)、個人商店が2万2350店(同18.1%)と昭和57年の本編刊行以来、法人商店の割合は拡大が続いている。

店舗面積別に経営組織別商店数の割合をみると、店舗面積が大きくなるにつれ法人商店の割合が高くなっており、10000 m²以上での割合は約9割となっている(第3図)。

第3図 店舗面積規模別、経営組織別にみた大規模小売店舗内商店数の構成比



前回比をみると、法人商店が1.7%減、個人商店が14.4%減と、ともに減少となった(第3表)。

第3表 経営組織別にみた大規模小売店舗内商店数

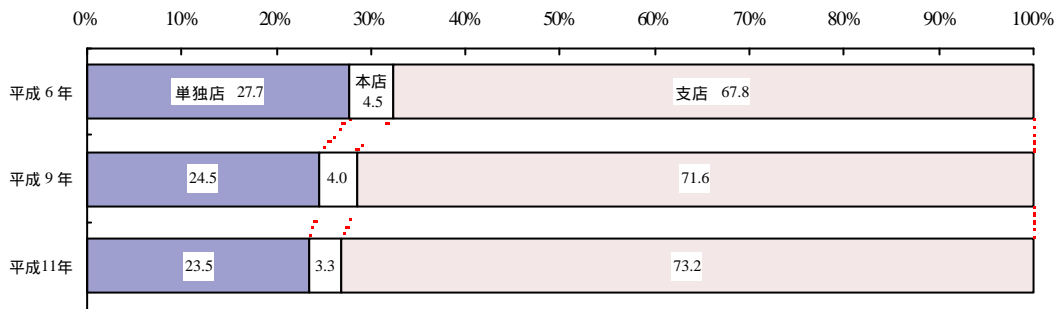
店舗面積規模	経営組織(法人・個人)別、大規模小売店舗内小売商店数							
	法人			個人				
	平成9年	平成11年		平成9年	平成11年			
	商店数(店)	構成比(%)	前回比(%)	商店数(店)	構成比(%)	前回比(%)		
合計	99,201	101,154	100.0 (81.9)	1.7	25,351	22,350	100.0 (18.1)	14.4
500 m ² 以上 1,000 m ² 未満	11,672	12,192	12.1	1.5	6,154	5,001	22.4	20.5
1,000 m ² 以上 1,500 m ² 未満	10,112	9,360	9.3	10.3	5,079	4,121	18.4	20.9
1,500 m ² 以上 3,000 m ² 未満	11,838	12,180	12.0	1.0	4,221	3,684	16.5	15.8
3,000 m ² 以上 6,000 m ² 未満	12,603	12,214	12.1	6.5	3,205	2,883	12.9	12.3
6,000 m ² 以上 10,000 m ² 未満	14,980	14,054	13.9	9.8	2,573	2,395	10.7	10.5
10,000 m ² 以上 20,000 m ² 未満	24,093	24,724	24.4	1.1	2,961	2,967	13.3	2.9
20,000 m ² 以上	13,903	16,430	16.2	13.4	1,158	1,299	5.8	7.9

(注1) 平成11年調査において事業所の捕そくを行っており、前回比については時系列を考慮したもので算出している。
 (注2) ()内の数値は法人・個人(経営組織)別構成比である。

本支店(単独店、本店、支店)別の大店内商店数

本支店(単独店、本店、支店)別にみると、大店内商店のうち単独店が2万8981店(構成比23.5%)、本店が4114店(同3.3%)、支店が9万409店(同73.2%)であった。構成比を前回と比較すると、単独店が1.0ポイント、本店が0.7ポイントとそれぞれ縮小となったが、支店は1.6ポイントの拡大と、拡大傾向が続いている(第4図)。

第4図 本支店別にみた大規模小売店舗内商店数構成比の推移



店舗面積規模別にみると、店舗面積が小さいほど単独店と本店が多く、店舗面積が大きくなるほど支店が多い(第4表)。

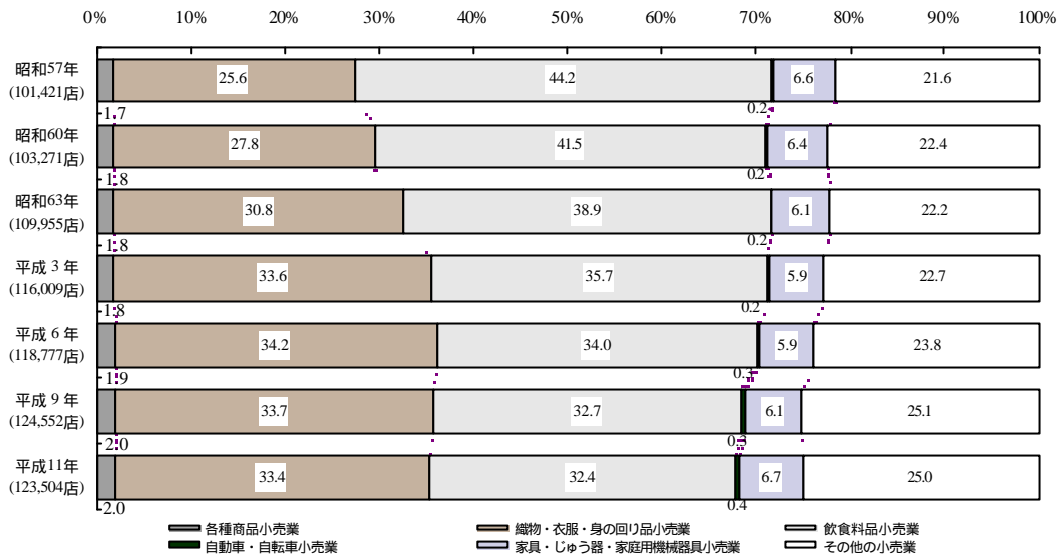
第4表 本支店別にみた大規模小売店舗内商店数

店舗面積規模	本支店別、大規模小売店舗内小売商店数 (店)					
	単 独 店	構 成 比 (%)	本 店	構 成 比 (%)	支 店	構 成 比 (%)
合 計	28,981	23.5	4,114	3.3	90,409	73.2
500㎡以上 1,000㎡未満	6,713	39.0	763	4.4	9,717	56.5
1,000㎡以上 1,500㎡未満	5,243	38.9	662	4.9	7,576	56.2
1,500㎡以上 3,000㎡未満	4,935	31.1	639	4.0	10,290	64.9
3,000㎡以上 6,000㎡未満	3,629	24.0	483	3.2	10,985	72.8
6,000㎡以上 10,000㎡未満	2,983	18.1	454	2.8	13,012	79.1
10,000㎡以上 20,000㎡未満	3,682	13.3	705	2.5	23,304	84.2
20,000㎡以上	1,796	10.1	408	2.3	15,525	87.6

業種別の大店内商店数

業種別の大店内商店数をみると、最も多いのは織物・衣服・身の回り品小売業(4万1251店、構成比33.4%)、以下、飲食料品小売業(4万73店、同32.4%)、その他の小売業(3万908店、同25.0%)、家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業(8312店、同6.7%)、各種商品小売業(2430店、同2.0%)、自動車・自転車小売業(530店、同0.4%)の順であった。商店数の多い織物・衣服・身の回り品小売業、飲食料品小売業は縮小傾向にあり、拡大の続いたその他の小売業はほぼ横ばい、割合の小さい家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業が0.6ポイントの拡大となっている。これは、携帯電話、パソコンなどの取扱い店の増加によるものとみられる(第5図)。

第5図 業種別にみた大規模小売店舗内商店数構成比の推移



大店 1 店舗当たりの大店内商店数

大店 1 店舗当たりの大店内商店数は 5.2 店、前回差 0.5 店の減少と 2 調査連続の減少となった。店舗面積規模別にみると、すべての店舗面積規模区分で減少、20000 m²以上を除く規模区分では、2 調査連続の減少となっている(第 5 表)。

第5表 大規模小売店舗 1 店舗当たりの大規模小売店舗内小売商店数

店舗面積規模	大規模小売店 1 店舗当たりの大店内商店数				
	商 店 数			前回差(ポイント)	
	平成6年	平成9年	平成11年	平成9年	平成11年
合 計	6.7	5.7	5.2	1.0	0.5
500 m ² 以上 1,000 m ² 未満	3.0	2.3	2.0	0.7	0.3
1,000 m ² 以上 1,500 m ² 未満	3.3	2.8	2.6	0.5	0.2
1,500 m ² 以上 3,000 m ² 未満	5.2	4.0	3.4	1.2	0.6
3,000 m ² 以上 6,000 m ² 未満	9.4	7.0	5.9	2.4	1.1
6,000 m ² 以上 10,000 m ² 未満	18.3	15.6	13.4	2.7	2.2
10,000 m ² 以上 20,000 m ² 未満	31.2	27.8	25.0	3.4	2.8
20,000 m ² 以上	42.7	42.9	39.9	0.2	3.0

大店 1 店舗当たりの大店内商店数は、平成 3 年以前はバブル景気の好調時に商品の差別化が進んだことからのブランド系列の拡大、また、それに伴う出店増などから概ね 1 店舗当たり 7.5 店で推移したものの、景気後退に伴い、系列店の再編・統合が進み、またテナント店の大型化などもあり減少傾向にある。

(2) 年間販売額

- 増加傾向から初めて減少 -

大規模小売店舗内小売商店（以下、「大店内商店」とら）の年間販売額は、48兆8452億円、前回比1.1%減と、商店数同様、昭和57年の本編刊行以来初めての減少となった。なお、大店内商店の小売業全体に占める割合は34.0%となっている（第6表）。

第6表 大規模小売店舗内小売商店の年間販売額の推移

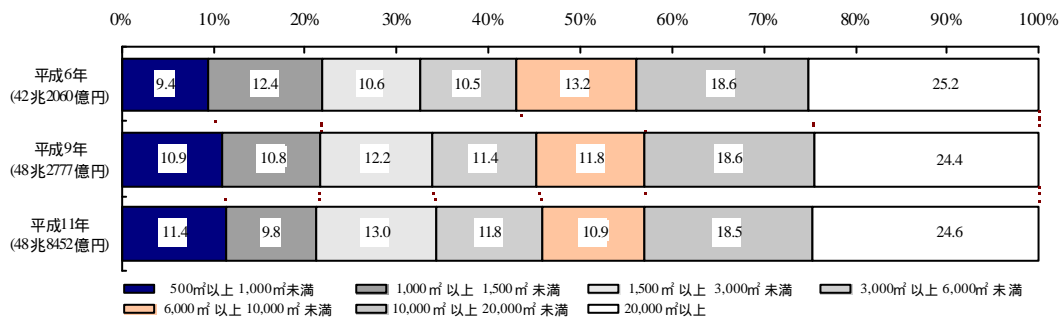
店舗面積規模	大規模小売店舗内小売商店の年間販売額							
	実数(百万円)			構成比(%)			前回比(%)	
	平成6年	平成9年	平成11年	平成6年	平成9年	平成11年	平成9年	平成11年
合計	42,205,989	48,277,742	48,845,174	100.0	100.0	100.0	14.4	1.1
500㎡以上 1,000㎡未満	3,957,654	5,274,854	5,557,927	9.4	10.9	11.4	33.3	3.2
1,000㎡以上 1,500㎡未満	5,254,271	5,191,501	4,781,384	12.4	10.8	9.8	1.2	10.4
1,500㎡以上 3,000㎡未満	4,490,081	5,875,021	6,353,183	10.6	12.2	13.0	30.8	5.2
3,000㎡以上 6,000㎡未満	4,423,967	5,488,189	5,778,938	10.5	11.4	11.8	24.1	3.2
6,000㎡以上 10,000㎡未満	5,566,983	5,685,549	5,327,452	13.2	11.8	10.9	2.1	8.4
10,000㎡以上 20,000㎡未満	7,867,190	8,979,895	9,015,587	18.6	18.6	18.5	14.1	1.6
20,000㎡以上	10,645,845	11,782,733	12,030,702	25.2	24.4	24.6	10.7	0.1

(注) 平成11年調査において事業所の掃そくを行っており、前回比については時系列を考慮したもので算出している。

店舗面積規模別の大店内商店の年間販売額

店舗面積規模別に構成比をみると、最も多いのは20000㎡以上（構成比24.6%）、次いで、10000～20000㎡未満（同18.5%）、1500～3000㎡未満（同13.0%）となっている。前回と比べると、10000㎡以上の規模区分ではほぼ横ばい、500～1000㎡未満、1500～3000㎡未満、3000～6000㎡未満の中小規模の区分では拡大傾向にある。（第6図）。

第6図 店舗面積規模別の大規模小売店舗内小売商店年間販売額構成比の推移



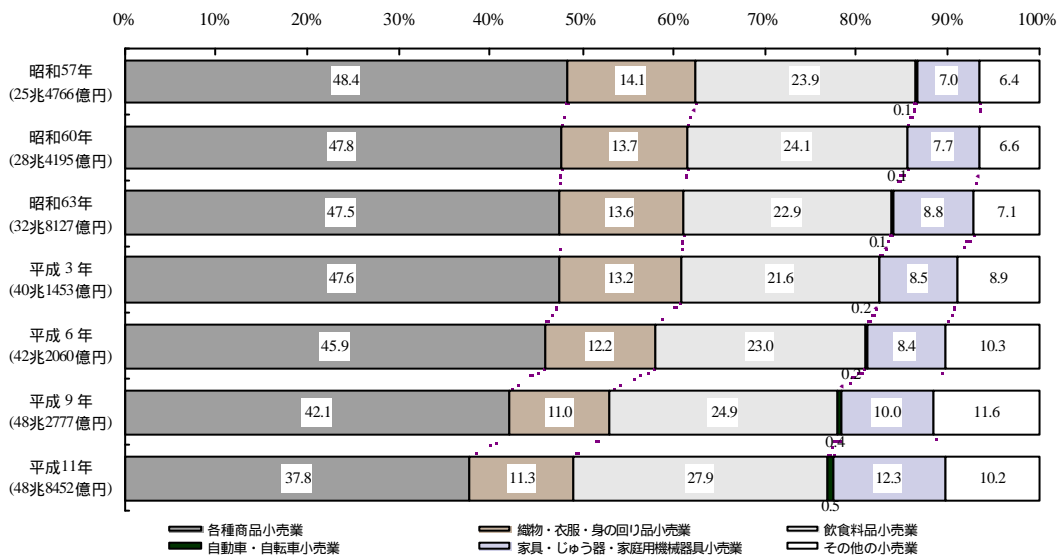
前回比をみると、500～1000㎡未満、1500～3000㎡未満、3000～6000㎡未満で増加、1000～1500㎡未満及び6000㎡以上の規模区分で減少となった。なかでも、1000㎡～1500㎡未満（同10.4%減）、6000㎡～10000㎡未満（同8.4%減）の2区分では、商店数と同様に減少幅が大きい（第6表）。

業種別の大店内商店の年間販売額

業種別に大店内商店の年間販売額をみると、最も多いのは各種商品小売業（18兆4512億円、構成比37.8%）、次いで、飲食料品小売業（13兆6462億円、同27.9%）、家具・じゅ

う器・家庭用機械器具小売業（6兆130億円、同12.3%）、織物・衣服・身の回り品小売業（5兆5123億円、同11.3%）、その他の小売業（4兆9914億円、同10.2%）、自動車・自転車小売業（2311億円、同0.5%）の順となっている。割合の最も高い各種商品小売業は縮小傾向にあるなか、飲食料品小売業、家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業が割合を大きく拡大させている。これは、各種商品小売業が、百貨店、総合スーパーといった核店舗となりうる大型商店の不振がみられるのに対し、飲食料品小売業は付加価値の高い調理食品の販売増や比較的大きな食品スーパーの出店など、家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業はパソコン、携帯電話などの販売好調から、販売額が大幅に増加していることによる（第7図）。

第7図 業種別に見た大規模小売店舗内商店の年間販売額構成比の推移



(3) 従業者数

- 派遣・下請従業者の割合が高い大型店舗 -

大規模小売店舗内小売商店（以下、「大店内商店」という）の従業者数は、183万7765人、前回比13.0%増と、昭和57年の本編刊行以来、増加が続いている。なお、大店内商店の小売業全体に占める割合は22.9%となっている（第7表）。

第7表 大規模小売店舗内小売商店の従業者数の推移

店舗面積規模	大規模小売店舗内小売商店の従業者数								
	実数(人)			構成比(%)			前回比(%)		
	平成6年	平成9年	平成11年	平成6年	平成9年	平成11年	平成9年	平成11年	
合計	1,385,186	1,586,451	1,837,765	100.0	100.0	100.0	14.5	13.0	
500㎡以上 1,000㎡未満	157,874	199,264	236,324	11.4	12.6	12.9	26.2	16.0	
1,000㎡以上 1,500㎡未満	197,583	187,929	197,419	14.3	11.8	10.7	4.9	2.6	
1,500㎡以上 3,000㎡未満	163,617	215,526	263,448	11.8	13.6	14.3	31.7	19.1	
3,000㎡以上 6,000㎡未満	163,149	202,795	236,678	11.8	12.8	12.9	24.3	14.2	
6,000㎡以上 10,000㎡未満	197,813	210,943	230,010	14.3	13.3	12.5	6.6	6.2	
10,000㎡以上 20,000㎡未満	265,178	311,052	366,671	19.1	19.6	20.0	17.3	14.9	
20,000㎡以上	239,972	258,942	307,215	17.3	16.3	16.7	7.9	15.3	

(注) 平成11年調査において事業所の捕そくを行っており、前回比については時系列を考慮したもので算出している。

店舗面積規模別の大店内商店の従業者数

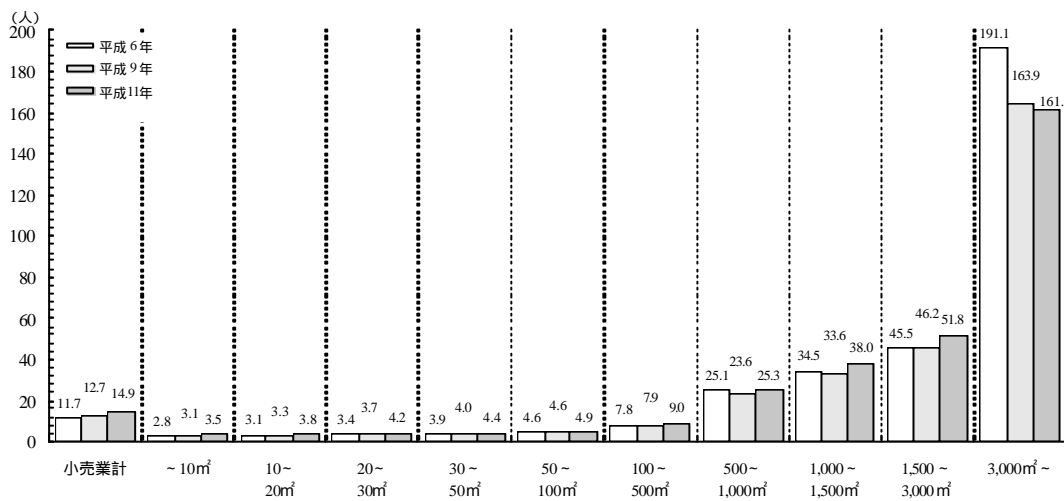
店舗面積規模別に構成比をみると、最も多いのは 10000 ～ 20000 m²未満 (構成比 20.0 %)、次いで、20000 m²以上 (同 16.7 %)、1500 ～ 3000 m²未満 (同 14.3 %)となっている。

前回比をみると、すべての規模区分で増加となっている (第 7 表)。

大店内商店 1 商店当たりの従業者数

大店内商店 1 商店当たりの従業者数は 14.9 人、前回 (12.7 人) に比べ 2.2 人の増加となった。1 商店当たりの従業者数は増加傾向にあるが、これは瞬間的なマンパワーを必要とする食品スーパーや、コンビニの増加に伴うパート・アルバイトの雇用増による (第 8 図)。

第8図 売場面積規模別にみた大店内商店1商店当たりの従業者数の推移



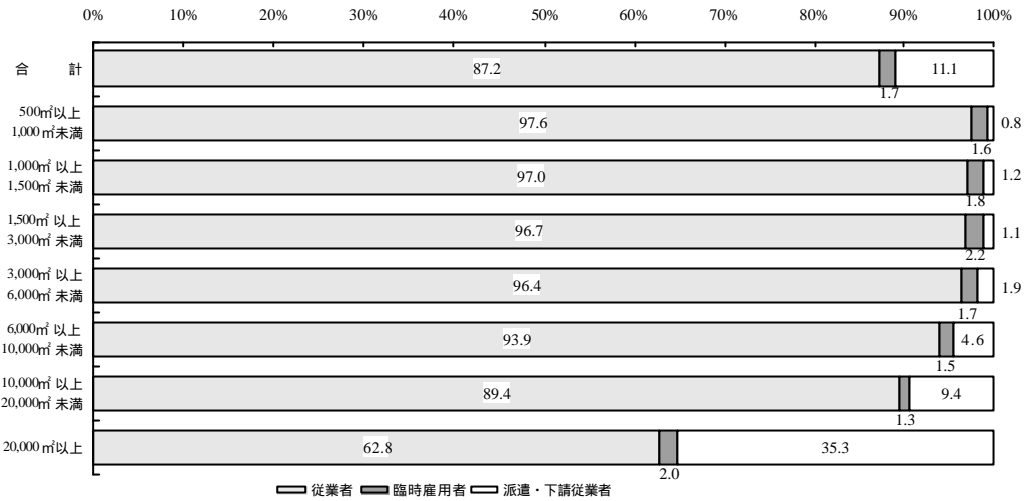
大店内商店 1 商店当たりの従業者数を売場面積規模別にみると、3000 m²未満区分で増加傾向、3000 m²以上区分で減少傾向となっている (第 8 図)。

大店内商店の就業者数と構造

大店内商店の就業者数は 210 万 8238 人、このうち従業者数が 183 万 7765 人 (構成比 87.2 %)、臨時雇用者数が 3 万 5850 人 (同 1.7 %)、派遣・下請従業者数が 23 万 4623 人 (同 11.1 %)となっている。派遣・下請従業者は、小売業全体では 3.3 %であったのに対し、大店内商店では 1 割を超えている。これは、大店内商店では百貨店や織物・衣服・身の回り品小売業など、流行に敏感な商品知識を必要とする業種の商店数割合が高いためとみられる (第 9 図)。

大店内商店の就業者数を店舗面積規模別にみると、店舗面積が大きくなるにつれ派遣・下請従業者数の割合が高くなっており、20000 m²以上では 35.3 %に及んでいる (第 9 図)。

第9図 店舗面積規模別に見た大店内商店の就業者数の構成



(4) 売場面積

- 1 商店当たりの売場面積は拡大傾向 -

大規模小売店舗内小売商店（以下、「大店内商店」という）の売場面積は、6189万5185㎡、前回は10.3%増と、昭和57年の本編刊行以来増加が続いている。なお、小売業全体に占める割合は46.2%となっている（第8表）。

第8表 大規模小売店舗内小売商店の売場面積の推移

店舗面積規模	大規模小売店舗内小売商店の売場面積								
	実数(㎡)			構成比(%)			前回比(%)		
	平成6年	平成9年	平成11年	平成6年	平成9年	平成11年	平成9年	平成11年	
合計	43,430,045	54,967,073	61,895,185	100.0	100.0	100.0	26.6	10.3	
500㎡以上 1,000㎡未満	4,097,079	5,812,862	6,513,463	9.4	10.6	10.5	41.9	9.9	
1,000㎡以上 1,500㎡未満	6,139,458	6,126,779	5,878,222	14.1	11.1	9.5	0.2	6.0	
1,500㎡以上 3,000㎡未満	5,447,315	7,443,587	8,645,272	12.5	13.5	14.0	36.6	13.7	
3,000㎡以上 6,000㎡未満	5,684,833	8,028,791	9,249,432	13.1	14.6	14.9	41.2	13.1	
6,000㎡以上 10,000㎡未満	6,391,180	7,498,757	7,898,617	14.7	13.6	12.8	17.3	3.3	
10,000㎡以上 20,000㎡未満	8,425,019	10,933,916	12,566,992	19.4	19.9	20.3	29.8	13.0	
20,000㎡以上	7,245,161	9,122,381	11,143,187	16.7	16.6	18.0	25.9	19.1	

(注) 平成11年調査において事業所の掃そくを行っており、前回比については時系列を考慮したもので算出している。

店舗面積規模別の大店内商店の売場面積

店舗面積規模別の大店内商店の売場面積の構成比をみると、最も多いのは10000～20000㎡未満（構成比20.3%）、次いで、20000㎡以上（同18.0%）、3000～6000㎡未満（同14.9%）となっている（第8表）。

前回比をみると、1000～1500㎡未満の減少を除く他の規模区分では、2調査連続の増加となっている（第8表）。

売場面積規模別の大店内商店数

売場面積規模別の大店内商店数の構成比をみると、最も多いのは50～100㎡未満（構成

比 25.2 %)、次いで、100 ~ 500 m²未満 (同 17.1 %)、30 ~ 50 m²未満 (同 16.8 %)となっている (第 9 表)。

第9表 売場面積規模別にみた大規模小売店舗内小売商店数

売場面積規模	大規模小売店舗内小売商店数				前回比 (%)
	実数(店)		構成比(%)		
	平成9年	平成11年	平成9年	平成11年	11/9年
小 売 業 計	124,552	123,504	100.0	100.0	4.3
～ 10m ²	4,162	3,717	3.3	3.0	16.0
10 ～ 20m ²	13,049	11,726	10.5	9.5	14.0
20 ～ 30m ²	12,771	11,406	10.3	9.2	14.5
30 ～ 50m ²	21,904	20,750	17.6	16.8	8.7
50 ～ 100m ²	31,872	31,129	25.6	25.2	5.6
100 ～ 500m ²	20,157	21,128	16.2	17.1	1.1
500 ～ 1,000m ²	8,320	9,918	6.7	8.0	16.7
1,000 ～ 1,500m ²	4,595	4,787	3.7	3.9	2.1
1,500 ～ 3,000m ²	3,895	4,545	3.1	3.7	14.2
3,000m ² ～	3,437	3,983	2.8	3.2	14.1
不 詳	390	415	0.3	0.3	3.6

(注)平成11年調査において事業所の捕そくを行っており、前回比については時系列を考慮したもので算出している。

前回比をみると、100 m²以上で増加、100 m²未満で減少となった。また、100 m²以上の商店数割合は、3年(23.4%)、6年(27.0%)、9年(32.4%)、11年(35.9%)と拡大傾向にある。

大店内商店 1 商店当たりの売場面積

大店内商店 1 商店当たりの売場面積は 503 m²、前回(443 m²)に比べ 60 m²の増加となった。1 商店当たりの売場面積の増加は、核店舗の大型化や、個々の商店の消費者の購買意欲促進を図ったゆとりある売場造りなどによる(第 12 図)。

3. 大規模小売店舗内・外別商店

- 年間販売額、従業者数、売場面積で拡大傾向にある大店内商店 -

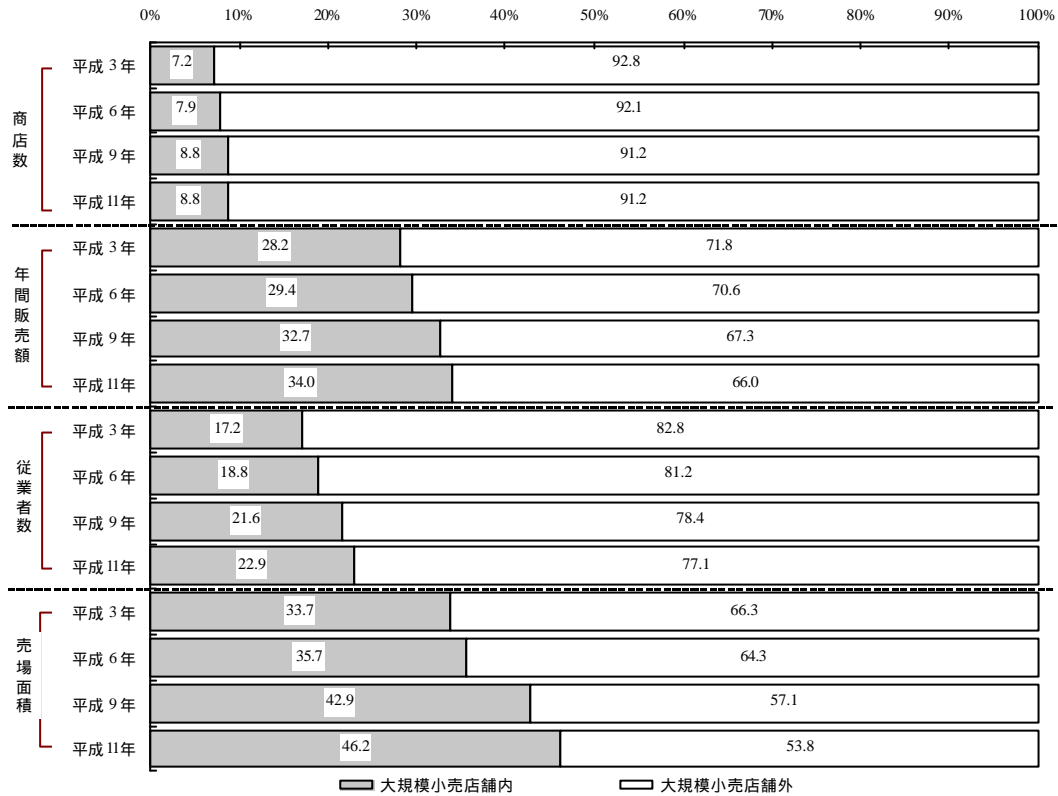
大規模小売店舗内小売商店(以下、「大店内商店」という)と大規模小売店舗の外にある小売商店(以下、「大店外商店」という)について構成比をみると、大店内商店は商店数では横ばい、年間販売額、従業者数、売場面積では拡大と、大店内商店の割合はいずれも半数には及ばないものの、拡大傾向が続いている(第 10 図)。

(1) 商店数

全国の小売商店数は 140 万 6884 店、このうち大店内商店が 12 万 3504 店(構成比 8.8%)、大店外商店が 128 万 3380 店(同 91.2%)となっている(第 10 図)。

前回比をみると、大店内商店は前回比 4.3%減、大店外商店は同 7.8%減と、ともに減少となった。なお、大店内商店数は、昭和 57 年の本編刊行以来初めての減少となっている。

第10図 大規模小売店舗内小売商店の構成比推移



(2) 年間販売額

全国の小売商店の年間販売額は 143 兆 8326 億円、このうち大店内商店が 48 兆 8452 億円 (構成比 34.0%)、大店外商店が 94 兆 9874 億円 (同 66.0%) となっている (第 10 図)。

前回比をみると、大店内商店が前回比 1.1% 減、大店外商店が同 11.3% 減と、ともに減少となった。

(3) 従業者数

全国の小売商店の従業者数は 802 万 8558 人、このうち大店内商店が 183 万 7765 人 (構成比 22.9%)、大店外商店が 619 万 793 人 (同 77.1%) となっている (第 10 図)。

前回比をみると、大店内商店は前回比 13.0% の増加、大店外商店は同 0.3% の微減となった。

1 商店当たりの従業者数をみると、大店内商店が 14.9 人 (前回差 2.2 人増)、大店外商店は 4.8 人 (同 0.3 人増) とともに増加となった。売場面積規模別にみると、1 商店当たりの従業者数は概ね大店内商店の方が多い (第 11 図)。

(4) 売場面積

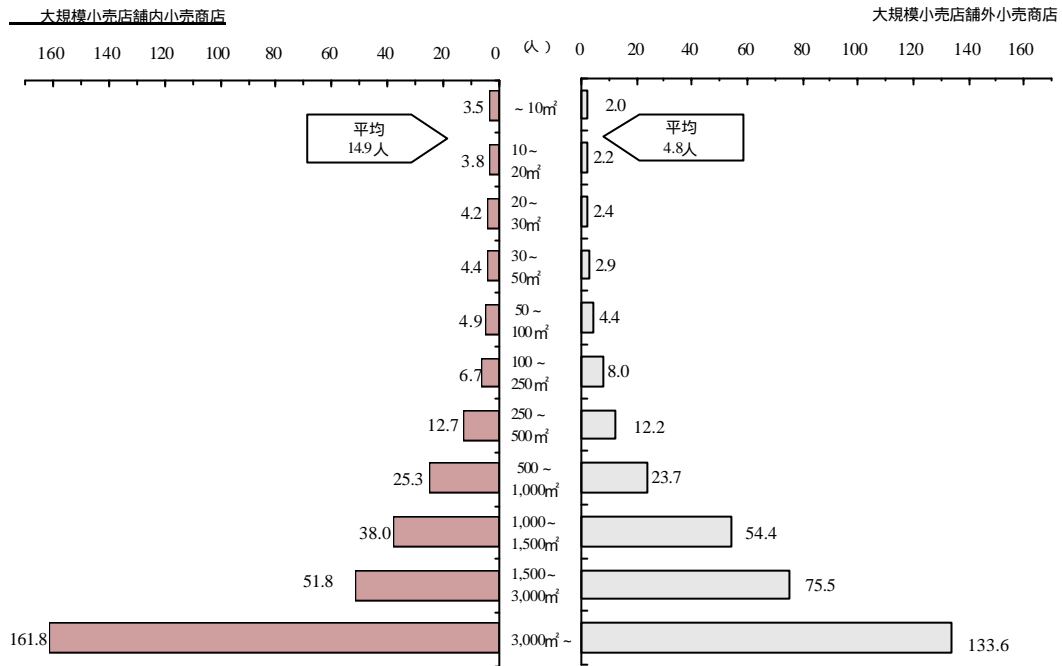
全国の小売商店の売場面積は 1 億 3386 万 9296 m²、このうち大店内商店が 6189 万 5185 m² (構成比 46.2%)、大店外商店が 7197 万 4111 m² (同 53.8%) となっている (第 10 図)。

前回比をみると、大店内商店は前回比 10.3% の増加、大店外商店は同 7.4% の減少とな

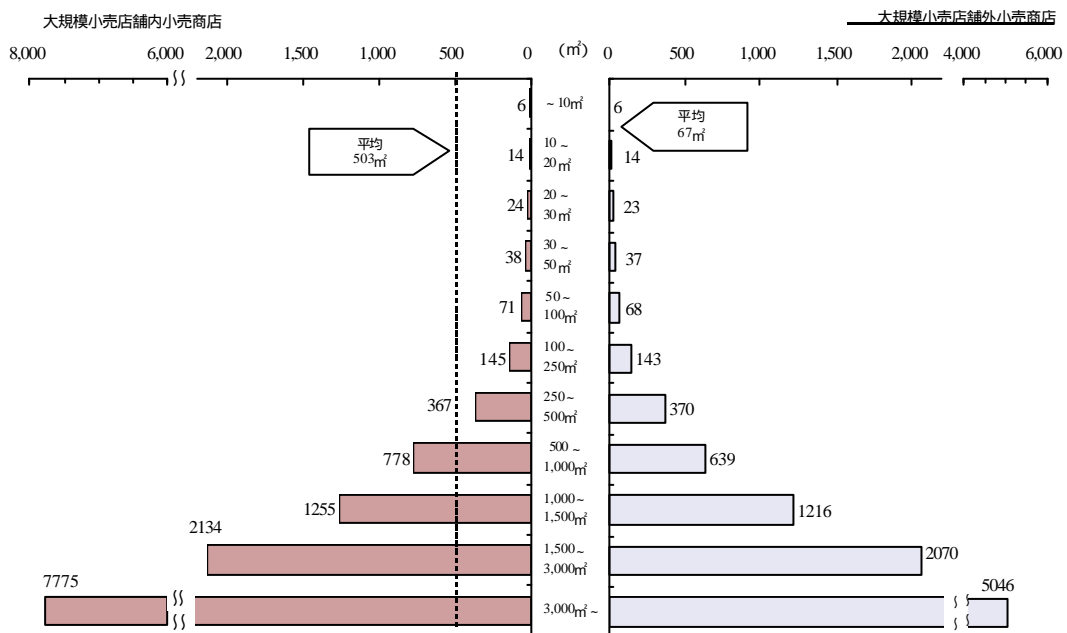
っている。

1 商店当たりの売場面積をみると、大店内商店は 503 m² (前回差 60 m²増)、大店外商店は 67 m² (同 1 m²増)ととも増加となった。売場面積規模別にみると、1 商店当たりの売場面積は 20 m²未満では大店内・外とも同じであるが、20 m²以上では 250 ~ 500 m²未満を除くすべての規模区分で大店内商店が大きい(第 12 図)。

第11図 大規模小売店舗内・外小売商店の1商店当たりの従業者数



第12図 大規模小売店舗内・外小売商店の1商店当たりの売場面積



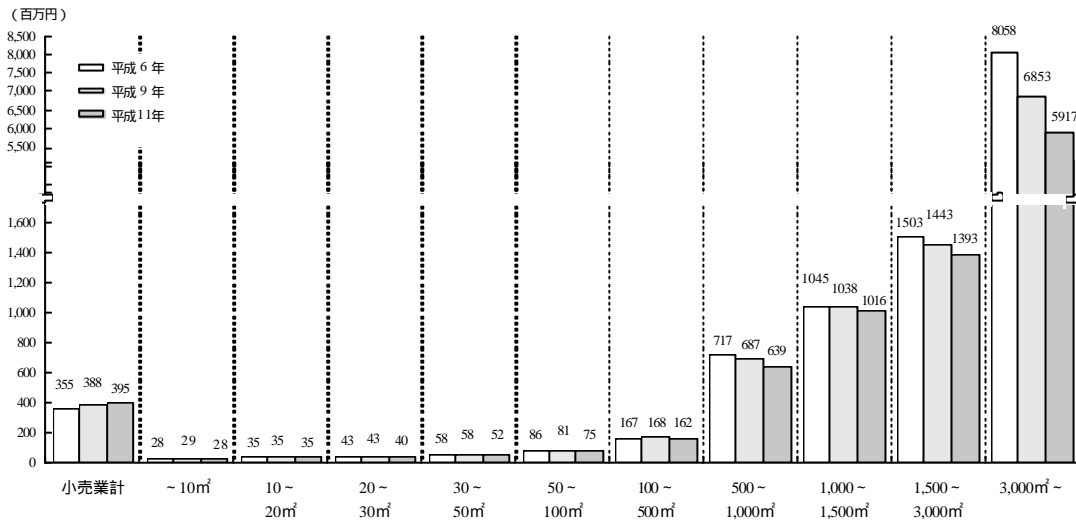
4. 単位当たりの年間販売額

- 売場面積 1㎡当たりの年間販売額は、大店外商店が大店内商店を上回る -

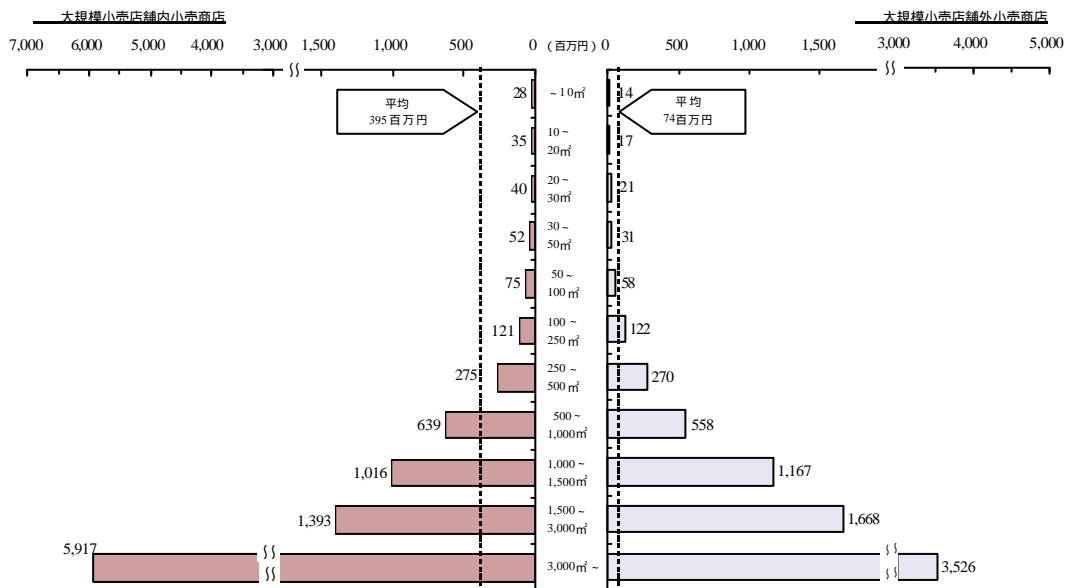
(1) 1商店当たりの年間販売額

大規模小売店舗内小売商店（以下、「大店内商店」という）の1商店当たりの年間販売額は、3億9549万円、前年比2.0%増と増加傾向が続いている。これは、売場面積500㎡以上の商店が増加し、そのシェアが高まったことなどによる。しかしながら、売場面積規模別にみると、すべての規模区分において減少するなど、大店内においても消費不況や実勢価格低下などの影響がみられる。特に3000㎡以上の大店内商店ではその減少幅は大きく、百貨店や総合スーパーなど大店の核となる商店ではその影響度はより大きなものとなっている（第13図）。

第13図 大規模小売店舗内小売商店の1商店当たりの年間販売額の推移



第14図 大規模小売店舗内・外別にみた1商店当たりの年間販売額



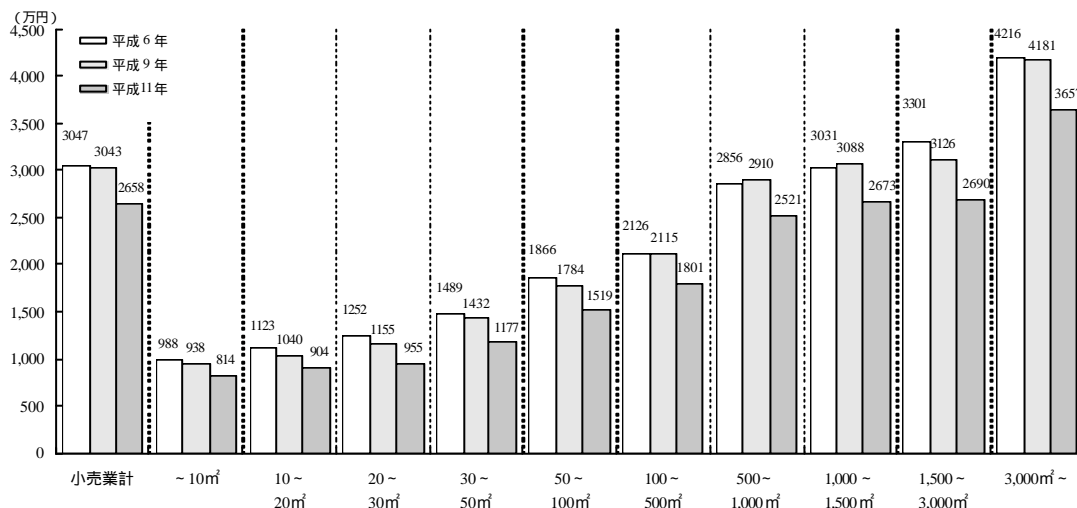
大店舗内・外別に 1 商店当たりの年間販売額をみると、大店内商店の 3 億 9549 万円 (前回比 2.0 % の増加) に対し、大店外商店は 7401 万円 (同 3.6 % の減少) となっており、これまで増加傾向にあった大店外商店の 1 商店当たりの年間販売額は減少となった。

1 商店当たり年間販売額を売場面積規模別にみると、100 ~ 250 m² 未満、1000 ~ 1500 m² 未満、1500 ~ 3000 m² 未満の 3 規模区分では大店外商店が大きい、それ以外の規模区分では大店内商店が大きい (第 14 図)。

(2) 従業者 1 人当たりの年間販売額

大店内商店の従業者 1 人当たり年間販売額は、2658 万円、前回比 12.7 % の大幅な減少となり、減少傾向が続いている。これは、食品スーパー、コンビニなどパート・アルバイトなどの短時間雇用者を多数採用する商店の増加などによる。また、売場面積規模別にみると、すべての規模区分において大幅な減少となっており、従業者 1 人当たりの年間販売額は減少傾向にある (第 15 図)。

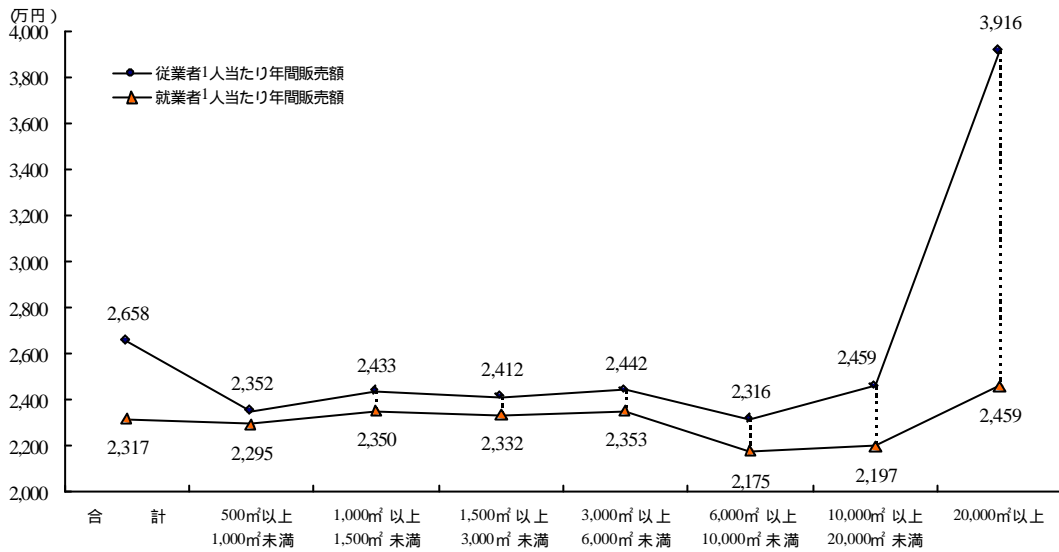
第15図 大規模小売店舗内小売商店の従業者 1 人当たりの年間販売額の推移



大店内商店について、従業者に臨時雇用者と派遣・下請従業者を加えた就業者 1 人当たりの年間販売額をみると、2317 万円 で従業者 1 人当たりの年間販売額との差は 341 万円となっている。これは、大店舗内では派遣・下請従業者の割合が高く、主要な労働力となっているためである。

就業者 1 人当たりの年間販売額を大店舗の店舗面積規模別にみると、店舗面積が大きくなるにつれ、従業者 1 人当たりの年間販売額とのかい離が大きくなる。特に 20000 m² 以上ではその差は 1457 万円と大きなものとなっている。なお、就業者 1 人当たりの年間販売額で見れば、店舗面積の大小による差は小さいものとなっている (第 16 図)。

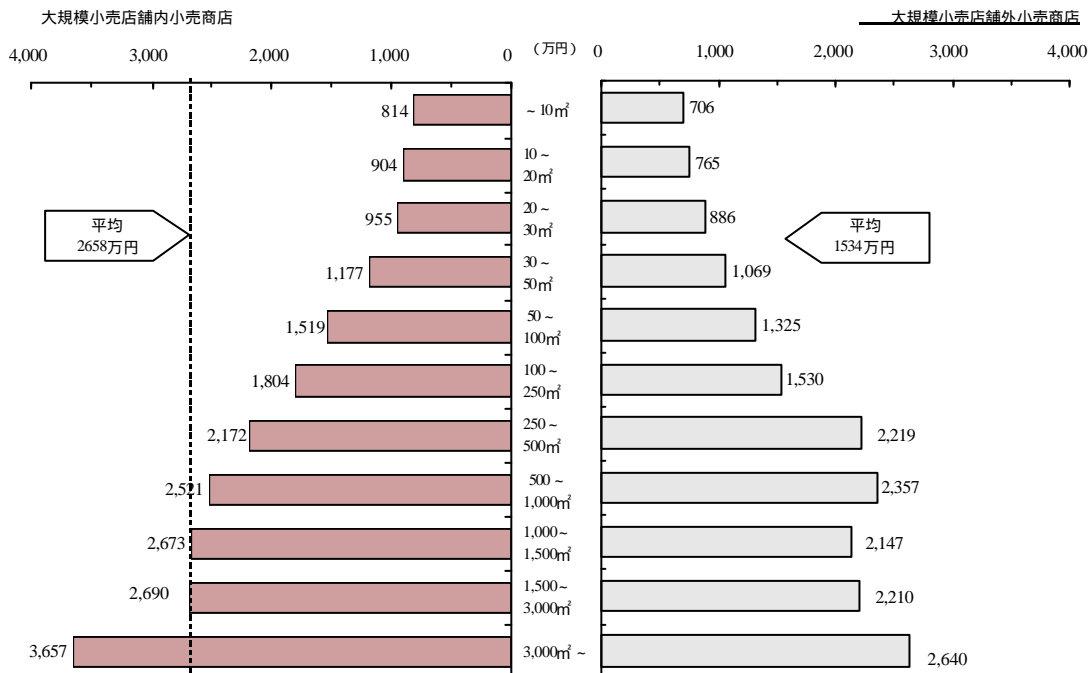
第16図 大店舗面積規模別にみた従業者1人当たりと就業者1人当たりの年間販売額



大店内・外別に従業者1人当たりの年間販売額をみると、大店内商店が2658万円(前回比12.7%の減少)、大店外商店が1534万円(同11.1%の減少)となっている。

売場面積規模別にみると、250～500㎡未満では大店外商店の方が大きい。それ以外のすべての規模区分では大店内商店の方が大きい。なお、大店内・外ともに売場面積が大きくなるにつれ、従業者1人当たりの年間販売額も大きくなっている(第17図)。

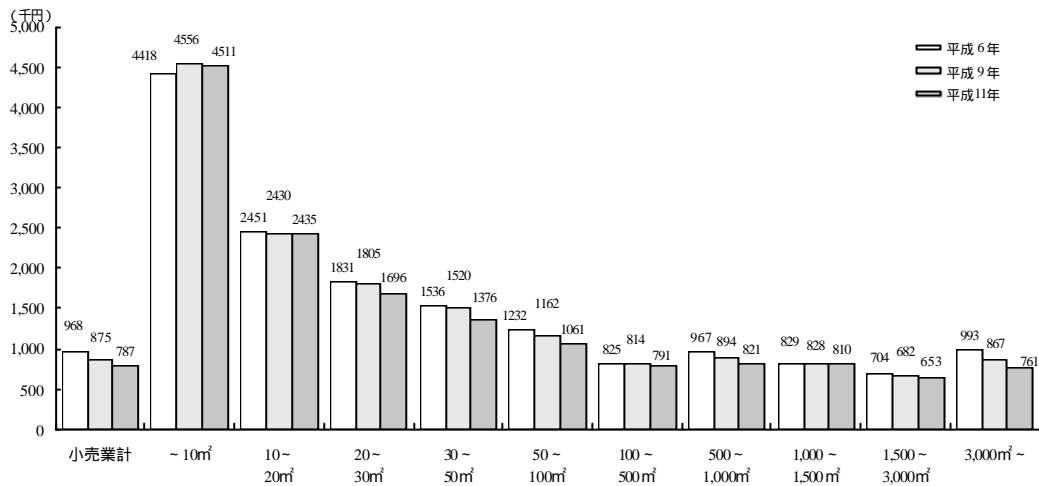
第17図 大規模小売店舗内・外別にみた従業者1人当たりの年間販売額



(3) 売場面積 1㎡当たりの年間販売額

大店内商店の売場面積 1㎡当たりの年間販売額は、78万7千円、前回比 10.0%の大幅減となり、減少傾向が続いている。これは、低価格化の進展に加え、消費者の節約志向を背景とした売上げの減少、また、売場面積が比較的大きい商店の増加や、消費者の購買意欲促進のためのゆとりある売場作りなどによるものとみられる。また、売場面積規模別にみると、10～20㎡未満を除くすべての規模区分において減少しており、特に3000㎡以上では前回比2桁台の大幅な減少となっている(第18図)。

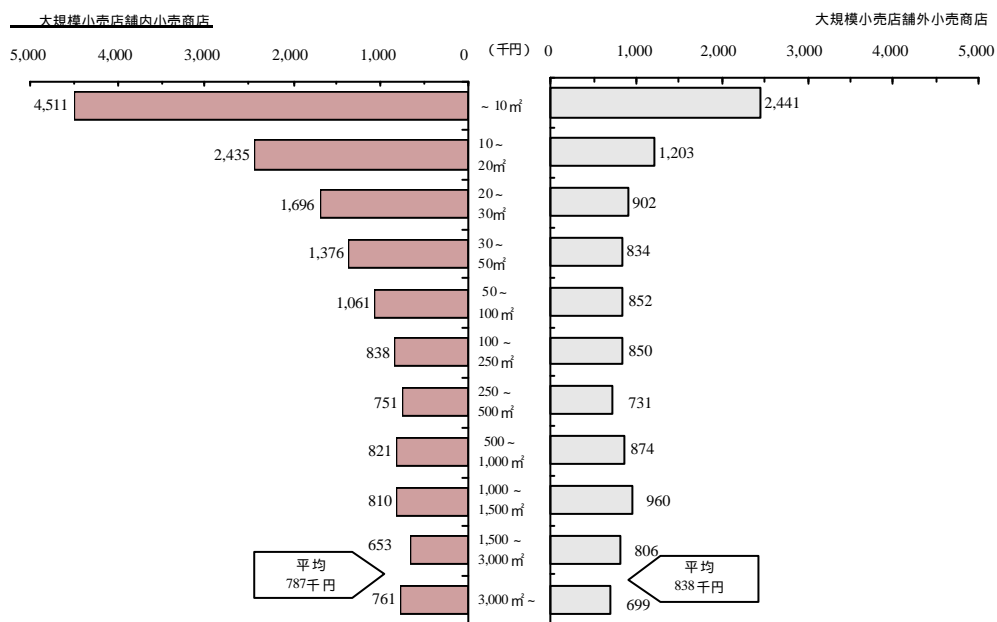
第18図 大規模小売店舗内小売商店の売場面積1㎡当たりの年間販売額の推移



大店内・外別に売場面積 1㎡当たりの年間販売額をみると、大店内商店が78万7千円、(前回比 10.0%の減少)、大店外商店が83万8千円(同 2.6%の減少)となっており、今回調査で初めて大店外商店が大店内商店を上回った。

売場面積規模別にみると、売場面積 1㎡当たりの年間販売額は概ね大店内商店の方が大きい、大店内・外とも大規模店より10㎡未満の小規模店の方が大きい(第19図)。

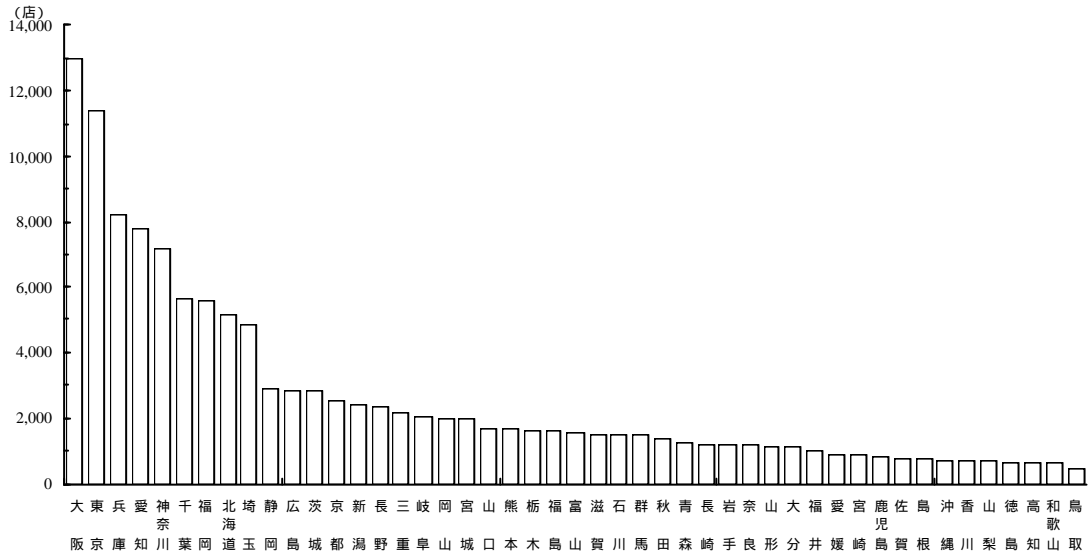
第19図 大規模小売店舗内・外別にみた売場面積1㎡当たりの年間販売額



(2) 大規模小売店舗内小売商店数

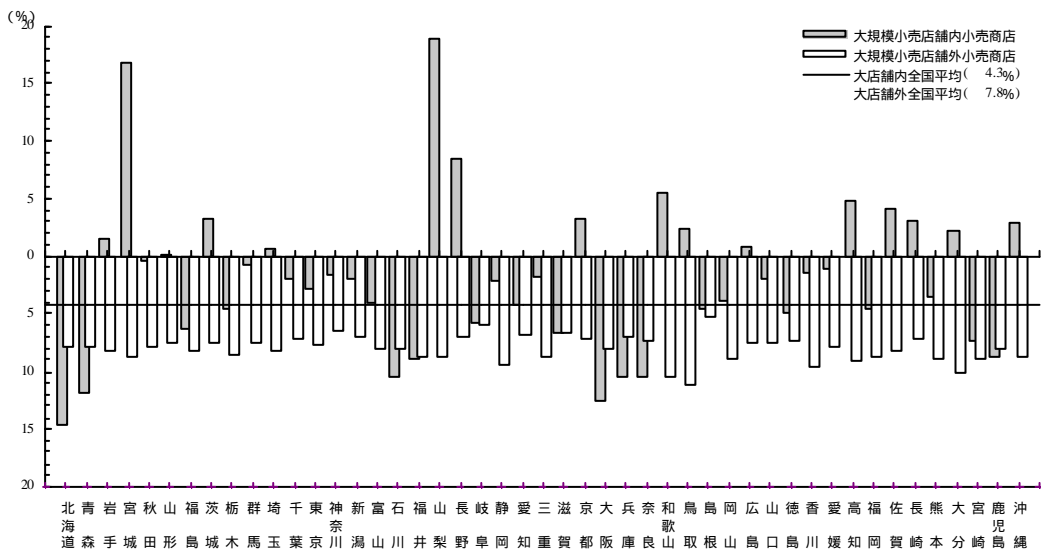
大規模小売店舗内小売商店（以下、「大店内商店」という）数を都道府県別にみると、大店内商店数が最も多いのは大阪（1万3004店、構成比10.5%）、次いで東京（1万1366店）とこの2県で大店内商店数が1万店を超えている。以下、兵庫（8183店）、愛知（7780店）、神奈川県（7147店）、千葉（5636店）、福岡（5593店）、北海道（5170店）と大都市を抱えている県が続いている（第10表、第22図）。

第22図 都道府県別にみた大規模小売店舗内小売商店数



前回比をみると、山梨、宮城の2桁台の増加をはじめ16県が増加したが、北海道、大阪、青森、石川、兵庫、奈良の2桁台の減少をはじめ31県が減少となっている。なお、大店外にある小売商店は全県で3調査連続の減少となっている（第10表、第23図）。

第23図 都道府県別にみた大規模小売店舗内・外別の小売商店数前回比



(注) 平成11年調査において事業所の捕そくを行っており、前回比については時系列を考慮したもので算出している。